



SBC東京医療大学

SBC Tokyo Medical University

街に、ルネッサンス



UR都市機構

令和6（2024）年12月13日

SBC東京医療大学

独立行政法人都市再生機構

東日本賃貸住宅本部

SBC東京医療大学とUR都市機構が連携協定を締結

～地域のウェルビーイングの推進に向けて協働～

SBC東京医療大学と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、令和6年12月13日に千葉県内のUR賃貸住宅及びその周辺地域等（以下「地域」）のウェルビーイングの向上の推進に係る連携協定を締結しました。

今後、SBC東京医療大学とUR都市機構は両者の知見を活かした取り組みを通し、地域でのウェルビーイングの推進を図ります。



左から、SBC東京医療大学学長 山之口 美喜生、
UR都市機構東日本賃貸住宅本部 東京東・千葉・神奈川地域本部長 酒井 弘

【お問い合わせ先】

- ◆SBC東京医療大学 事務局総務課 (電話) 047-382-2111 (代表)
- ◆UR都市機構 東日本賃貸住宅本部
千葉エリア経営部ウェルフェア推進課 (電話) 043-296-7295
総務部 総務課 (広報担当) (電話) 03-5323-2555

1. 背景・目的

SBC東京医療大学は、保健医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的として、総合的な教養を身につけた高度で資質の高い医療専門職の人材を育成しており、教員の研究成果の社会への還元として、また、保健医療を学ぶ学生の実践として、様々なフィールドで、社会連携・地域貢献の活動を積極的に行っています。

UR都市機構は、団地における少子高齢化が進行していることを踏まえ、地域の関係者の方々と連携・協力しながら、高齢者の健康維持・増進の活動や子育て世帯が安心して子育てできる環境づくり、多様な世代の交流機会の創出を通して、人々が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくりを目指しています。

この度、SBC東京医療大学とUR都市機構は、両者の特徴や活動等を活かし、地域におけるウェルビーイングの推進を図るため、連携・協働することとしました。

2. 締結者

- ・ SBC東京医療大学
SBC東京医療大学 学長 山之口 美喜生 (やまのくち みきお)
- ・ UR都市機構
東日本賃貸住宅本部 東京東・千葉・神奈川地域本部長 酒井 弘 (さかい ひろし)

3. 主な連携事項

SBC東京医療大学とUR都市機構は地域の関係者とも連携しながら、地域をフィールドにお住まいの方の健康寿命延伸や介護予防に繋がる試み、また、子どもも楽しめる多世代交流イベント等を通し、次の事項に取り組んでまいります。

- ・ 子どもから高齢者まで多様な世代に対応した健康づくり
- ・ 健康づくりを通じた地域のコミュニティ形成
- ・ 高齢者支援及び子育て支援の推進 など

4. これまでの活動内容（参考）

SBC東京医療大学とUR都市機構は運動アプローチを介したコミュニティ形成促進を目的に、以下の取り組みを行ってきました。今後も地域でのウェルビーイングの推進に向けた取り組みを進めてまいります。

浦安マリナースト 21 望海の街における親子運動遊び教室
(令和6年10月)



(令和6年5月)



浦安マリナイースト 21 潮音の街における潮騒サロンでの健康講座（令和5年度）



浦安ニューシティ美浜西エステートにおけるウォーキングイベント（令和4年度）



UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp>

